

令和8年度 市長演述

保育所・こども園の副食費や 学校給食費の無償化などに取り組む

2月27日の市議会本会議で、五日市市長が令和8年度の市長演述を行いました。
内容を一部抜粋、要約して紹介します。

第2次総合計画の一年間延長

第2次総合計画は平成28年度から令和7年度までの10年間を計画期間としていましたが、期間を1年間延長し、令和8年度は、第2次総合計画の最終年度として、次期総合計画の策定を進め、令和9年度からの計画スタートへとつなげていくための重要な期間として位置づけています。

しごと・産業・交流

地域産業は、長期化する物価高騰により、依然として厳しい状況が続いています。引き続き国や県、関係機関と連携して必要な対策を講じます。

▷産業の振興

商工業では、地元企業の雇用促進、食産業振興に係る上水道使用料の補助、制度融資などに継続的に取り組み、経営を下支えするとともに、賃上げや事業継承、空き店舗活用を支援します。県立産業技術短期大学校設置の早期実現を引き続き岩手県に強く要望し、市としてできる準備を進めます。

農林畜産業では、有害鳥獣の捕獲や被害予防の支援、狩猟免許取得に係る補助と併せ、鳥獣を「寄せつけない」ための環境整備に取り組めます。葉たばこや園芸作物の生産支援、新規就農者支援を継続するとともに、基盤整

備では、上斗米や金田一地区の事業化に向けた調査を進めます。

▷浄法寺漆の振興

生産拡大を推進し、原木確保や漆掻き技術の向上など人材育成に取り組めます。

▷観光の振興

開湯400年を迎えた金田一温泉は、実行委員会の取り組みに協力、支援します。九戸城跡周辺では集会・休憩・案内施設を一体整備した「愛楽館」がオープン予定であり、情報発信と地域を周遊する取り組みを推進します。天台寺は、アジサイ1万本プロジェクトや景観のライトアップなど、令和10年の開山1300年に向けた取り組みの輪が広がっています。文化財収蔵庫にオープンする「うるし物語情報発信センター」で浄法寺漆や漆文化の価値と魅力を伝え、エリア周遊の起点として活用します。

子ども・若者・女性

▷子育て支援

高校生までの医療費の完全無償化や産後ケア事業、5歳児健康診査を継続します。また、公立保育所・民間こども園の副食費無償化、学校給食費の無償化を新年度から実施し、子育て世帯の負担軽減を図ります。

▷教育

槻蔭舎きぼう塾や東京学芸大学との連携

重点項目（一部抜粋）

副食費・学校給食費の支援

▷副食費支援事業

1,080万円

子育て世帯の負担軽減を図るため、公立保育所および民間こども園の副食費無償化を実施します。



▷学校給食費支援事業

1億1,240万円

子育て世帯の負担軽減を図るため、小学校・中学校の学校給食費の無償化を実施します。



事業など、特色ある取り組みに加え、通学路の市道福岡高校線の改良工事など、一層の教育環境充実に取り組みます。また、市内県立高校の入学率確保のため、通学費補助や広報などを通じた学校の情報発信などを継続して行うとともに、魅力化の大きな核となる福岡高校校舎の全面改築を引き続き県に強く要望します。

▷移住・定住の促進

住宅リフォーム補助や子育て世帯への移住支援など、経済的な負担軽減を図るとともに、地域おこし協力隊の定住促進に努めます。

暮らし・安心・健康

▷医療と福祉

浄法寺診療所は新年度から常勤医師を迎え、診療体制の維持に努めます。高齢者や障がい者の暮らしを支える地域包括ケアシステムの推進に向けて、関係機関と連携を強化します。

▷防災・減災

消防団の計画的な車両の更新、免許取得支援を継続します。加えて、犯罪被害者などの支援に向け

公共交通の利便性向上

▷デマンド交通運行費

1,610万円

民間事業者と連携した持続可能で利用しやすい公共交通の実現に向け、デマンド交通を実証運行から本格運行へ移行します。



持続可能なまちづくり

▷ふるさと共創推進事業

610万円

市民の声を反映した次期総合計画の策定に取り組むとともに、在京の本市出身者を通じたふるさと交流を推進します。



て、条例制定の準備を進めます。

▷公共交通

デマンド交通を本格運行へと移行し、交通の利便性を高めるとともに、広域バス路線の維持やIGRいわて銀河鉄道の経営安定に向けた支援を継続します。

地域力・行政力・共創

▷公民連携事業

金田一温泉、九戸城跡、天台寺、二戸駅前を中心に、主体的な賑わいづくりを支援します。

▷社会資本整備

有利な財源を確保し、土地区画整理事業を推進するとともに、上町下川原線や役場線などの生活道路の改修に取り組めます。また、上下水道施設の計画的な設備更新を行います。上水道は人工衛星を活用した漏水調査を実施し、水道施設の老朽化対策と有収率の向上を図ります。

▷持続可能な行財政運営

出生数の減少や民間の受け入れ体制などを鑑み、本年度から堀野、金田一の両市立保育所の新規募集を停止しました。また、市立小中

学校の在り方について、子どもたちに望ましい教育環境を確保するため、市内小中学校の適正配置を推進する計画策定に取り組めます。

▷歳入の確保

ふるさと納税寄附受入額の本年度目標額を2億5千万円とし、さらに上乗せできるよう、取り組みを強化します。

▷結びに

私は、山積する課題を真正面から捉え、「ふるさと二戸」をさらに発展させるために、今やるべきことに全力で取り組みます。



全文はこちら▶



令和8年度

教育施政方針

学びの広がるまちづくり、
未来を拓く人づくりを目指して

2月27日の市議会本会議で、佐藤教育長が令和8年度教育施政方針を説明しました。内容を一部抜粋、要約して紹介します。

学校教育の充実

▷確かな学力の育成

これまで、教員の授業力向上を主眼に「東京学芸大学連携事業」、「教育研究所事業」、「スクールタイアップ事業」の三本柱で取り組んできました。本年度も先進的な教育理論や実践に学ぶ機会を提供し、子どもたちの「深い学び」を実現するため、授業改善や学力向上の支援に努めます。

▷児童生徒の不登校

不登校者数が増加傾向にあり、その要因は複合的であることを踏まえ、支援会議の開催や関係機関との連携、1人1台端末の活用などで心身の変化の把握に努めます。また、教育支援センターなどにおける学びの場を提供し、安心して学べる環境づくりを進めます。

▷国際理解教育

これまで派遣研修は、田中館愛橘博士の足跡を辿り、次代を担う人材育成を目的としてイギリス・グラスゴーを派遣先としていましたが、本年度はホームステイを主体としてオーストラリアを選定しました。異なる文化背景を持つ人々と交流し、多様な価値観を理解・尊重できるグローバルな視野を持つ人材を育成します。

▷GIGAスクール事業の推進

児童生徒の個別最適な学びと協働的な学び、情報活用能力向上を目指して1人1台端

末を更新します。また、全国学力・学習状況調査のオンライン実施を見据えネットワーク環境の強化を図ります。

▷学校給食

物価高騰への対応や保護者の負担軽減に配慮し、安全・安心な給食の提供に努めます。

▷学校部活動の地域連携

活動機会確保のため、拠点校方式の実施に向けた体制整備を進めてきました。本年度は、拠点となる福岡中学校の部活動指導員を拡充し、本格実施に向けた取り組みを行います。

▷小中学校の適正配置

子どもたちに良好な学習環境を確保するため、学校の適正規模と通学区域についての答申を受けています。今後は、その答申を基に「小・中学校適正配置計画」を策定し、望ましい教育環境の整備を進めます。

社会教育の充実

子どもたちが体験を通じて将来像を描き、社会を生き抜く力を育むことは、生涯学び続ける意欲につながります。「いつでも、どこでも、だれでも」学べる環境づくりとして、学習機会の提供に努めてきました。

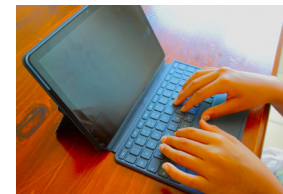
▷キャリア教育

小中学生を対象とした「楓蔭舎きぼう塾」や「しごとメッセ」などの各プログラムを通じて、地域の先輩や郷土の宝に触れ、社会貢献

■重点項目（一部抜粋）

1人1台端末の活用

児童生徒の個別最適な学びと協働的な学びの充実を実現し、情報活用能力を向上させるため、1人1台端末の更新を行います。



中学校部活動の地域連携

活動機会の確保を目的として、福岡中学校を拠点校に位置づけ、部活動指導員を拡充し、本格的な学校部活動の地域連携に向けた取り組みを進めます。



生涯学習機会の提供

「いつでも、どこでも、だれでも」学べる環境を整え、子どもから大人まで幅広い世代が、安心して生涯学習に取り組める機会を提供します。



史跡九戸城跡の保護と活用

保存活用計画を策定し、市民が誇りを持てる歴史公園として多様な活用を進め、文化財の価値を保全し、九戸城跡の魅力を発信していきます。



や自己実現の意義、郷土への愛着や誇りを深める機会を提供してきました。本年度も郷土への愛着や誇りを育み、社会的・職業的自立に必要な「生きる力」を養うキャリア教育を引き続き推進します。

▷市民の生涯学習活動の支援

高齢者や保護者向け、古典文学など、対象や関心に沿う講座を開催してきました。今後も、幅広い世代に応じた講座などの充実を図っていきます。

▷図書活動の推進

産前産後の親への読み聞かせや、乳児健診会場での発達段階に合わせた読み聞かせと絵本のプレゼントは、絵本を楽しむきっかけとなっています。小中学生への図書の贈呈は、切れ目のない読書活動の支援として行っています。今後も読書の喜びを継続して実感できる環境づくりを進めます。

芸術・文化・スポーツの振興

優れた芸術や伝統芸能に触れることは、子どもたちの感性と創造性を育み、幅広い世代に豊かな生活や生きがいをもたらします。そ

のため、多くの市民が触れる機会を創出し、親しむ取り組みを進めてきました。今後も、市民参加型フェスティバルなどを通じて芸術文化の振興を推進します。

▷芸術文化団体などの活動

財政面での支援や活動発表の場の提供により、地域に根差した芸術文化・伝統芸能などの継承につなげるよう努めていきます。

▷スポーツ

生涯スポーツと健康づくりを推進するため、健康教室や各種大会の開催など、スポーツを身近に感じる機会を提供します。8月には大平球場をメイン会場に軟式少年野球の全国大会が開催され、全国の精鋭チームのプレーを間近で見ることが、子どもたちの視野を広げ、競技力の向上にもつながると考えています。

▷史跡九戸城跡の保護と活用

第2期整備工事が概ね完了し、二ノ丸大手虎口を抜けて本丸の隅櫓と高石垣の姿を目にする「見せる城」が現れました。今後は、保存活用計画を策定し、市民が誇りを持てる歴史公園として、花火大会や音楽活動など多様な活用を進

めます。また、公有化や発掘・史料調査を通じて文化財の価値を保全し、九戸城跡の魅力を発信していきます。

▷文化財の保護と活用

二戸の宝である文化財を適切に次世代へ継承していくために、文化財講演会の開催や記録集の作成、郷土芸能映像のデジタル化を進め、市民の皆様が文化財の価値を理解し、愛着を深められるように保存と活用の両立を目指します。



全文はこちら▶



時代に適合した 持続可能なまちづくり

■ 歳入の特徴

市税や繰入金などの自主財源は31.3%、地方交付税や国庫支出金などの依存財源は68.7%となっています。前年度に比べて、地方交付税や国庫支出金が増加しています。

また、有利な財源の活用により、財政調整基金などからの繰入金や市債が減少しています。

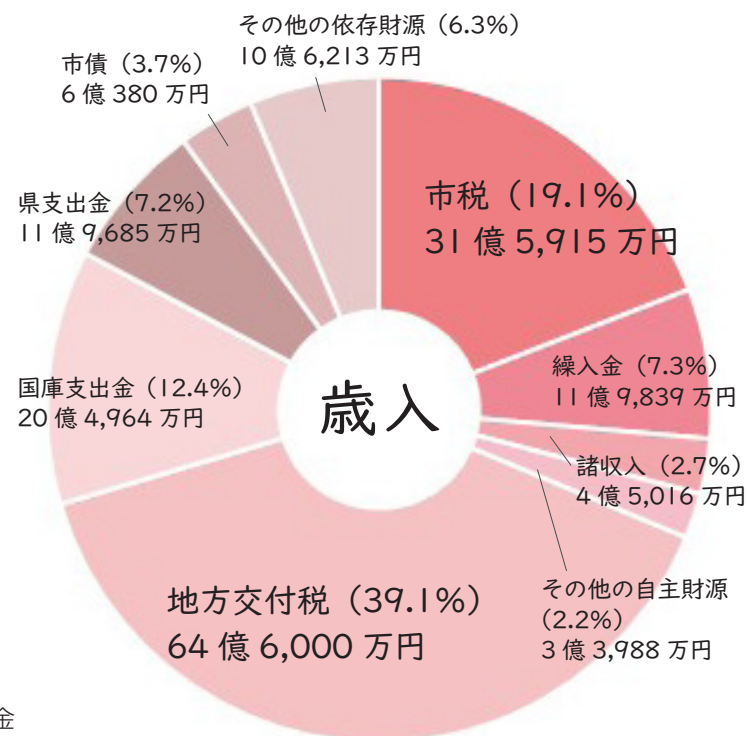
■ 歳入の用語解説

自主財源

- ▶市税…住民の皆さんから納められた税金
- ▶繰入金…特定の事業を行う際の財源として基金から繰り入れるもの
- ▶諸収入…他の収入科目に含まれない、受託事業収入や雑入などの収入

依存財源

- ▶地方交付税…一定の行政サービスを行えるように国から交付されるもの
- ▶国庫（県）支出金…主に特定事業の財源として国（県）から交付されるもの
- ▶市債…建設事業など大きな事業を行うために借り入れるもの



■ 特別会計

※ 端数処理のため計が一致しない部分があります

会計名		予算額	伸び率
国民健康保険 特別会計	事業勘定	28 億 3,092 万円	▲ 1.3%
	診療施設勘定	2 億 4,202 万円	▲ 6.5%
土地区画整理事業特別会計		13 億 2,577 万円	16.7%
介護サービス事業特別会計		1 万円	—
後期高齢者医療特別会計		4 億 7,407 万円	18.4%
計		48 億 7,279 万円	4.5%

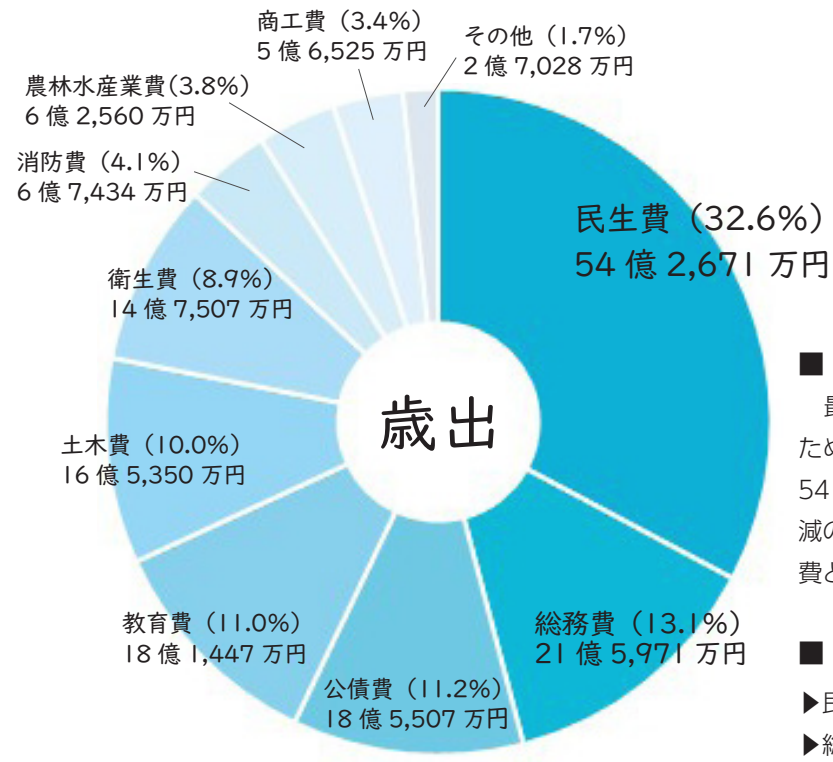
■ 公営企業会計

会計名		予算額	伸び率
簡易水道 事業会計	収益的収入	1 億 6,541 万円	▲ 1.1%
	収益的支出	1 億 6,332 万円	▲ 3.1%
	資本的収入	1,793 万円	▲ 71.2%
	資本的支出	4,280 万円	▲ 46.5%
下水道 事業会計	収益的収入	7 億 8,302 万円	28.1%
	収益的支出	5 億 9,203 万円	▲ 3.1%
	資本的収入	3 億 3,450 万円	▲ 52.3%
	資本的支出	6 億 5,226 万円	▲ 22.2%
水道 事業会計	収益的収入	6 億 6,552 万円	▲ 0.4%
	収益的支出	6 億 7,168 万円	0.1%
	資本的収入	4 億 3,104 万円	12.5%
	資本的支出	7 億 4,129 万円	8.7%

▶ 令和 8 年度一般会計予算は、165 億 2,000 万円

令和 8 年度の予算が市議会 3 月定例会で可決されました。一般会計予算総額は前年度当初比 0.6% 減の 165 億 2,000 万円としました。令和 9 年度の次期総合計画スタートに向けて、市民の皆さんと共に持続可能なまちの将来像を描きながら、希望あるまちづくりを推進していきます。

図 財政課 (☎ 23-3118)



■ 歳出の特徴

最も大きな割合を占めているのは、福祉や医療のために使われる民生費で、前年度に比べて 0.5% 増の 54 億 2,671 万円、次に総務費が前年度に比べて 8.8% 減の 21 億 5,971 万円、続いて公債費、教育費、土木費となっています。

■ 歳出の用語解説

- ▶民生費…子育て支援や高齢者福祉などの経費
- ▶総務費…行政全般の事務や財産管理などの経費
- ▶教育費…学校教育や社会教育などの経費
- ▶土木費…都市計画や道路整備、公園整備などの経費
- ▶衛生費…予防接種や健康診断、ごみ処理などの経費
- ▶消防費…消防団活動や防災に関する事業などの経費
- ▶農林水産業費…農林畜産業の振興などの経費
- ▶商工費…商工業や観光業、漆産業の振興などの経費

■ 重点項目（一部抜粋）

鳥獣被害を防ぐ

- ▶有害鳥獣被害対策事業 880 万円

多発する有害鳥獣による被害を防ぐため、緩衝帯の整備による生息環境管理や捕獲体制の強化を図ります。



社会教育施設の整備

- ▶大平球場リフレッシュ事業 5,670 万円
- ▶文化会館リフレッシュ事業

大平球場の環境整備や文化会館の設備更新を実施し、スポーツ・文化活動の拠点として利便性を向上させます。



漆文化の情報発信

- ▶漆文化財収蔵庫管理費 849 万円

改修した漆文化財収蔵庫を活用し、鍛冶工房や滴生舎などの周辺施設と連携を図りながら漆文化の魅力を広く発信します。



安定した水道水の供給

- ▶漏水調査事業 550 万円

人工衛星を活用した漏水調査を実施し、漏水箇所の早期発見に努めます。また、水道施設の計画的な更新により、水道水の安定供給を図ります。

